

# 関町小通信

平成 28 年 4 月 28 日  
練馬区立関町小学校  
学校だより 5 月号

## “一人100冊読書”へのチャレンジ

校長 福岡 勤

右のグラフを御覧ください。これは昨年度の全国学力・学習状況調査の「児童質問紙」の中にある

**平日の読書時間について**の項目で、本校の第6学年児童が、回答した結果をグラフに表したものです。

モノクロ印刷では、なかなか分かりづらいとは思いますが、「全くしない(31%)」「10分以下(11%)」…と12時の位置から時計回りで読み取っていただければと思います。「全くしない」が約3割います。

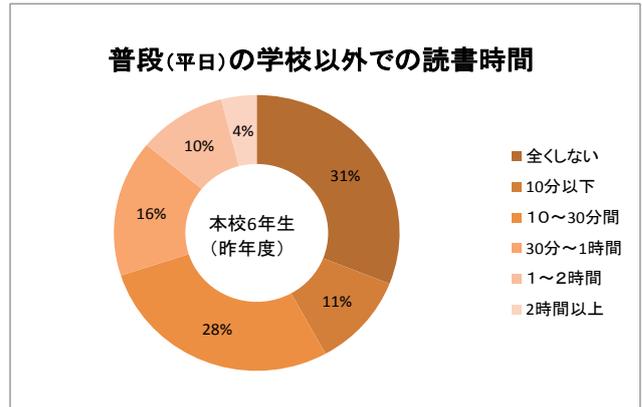
この結果は、東京都や全国平均(17~19%)と比べると明らかに望ましくない傾向となっています。

昨年度の大学生協の調査では「大学生の4割が本を全く読まない」という嘆かわしい結果も報告されていますが…(その代わりに大学生のPC・スマートフォンの使用時間は2時間を超えるとのことでした)。

次に、読書に関する別の調査結果を紹介します。

**昼休みや放課後に学校の図書館に行ったり、学校が休みの日に地域の図書館にどれくらい行ったりしていますか?** (一部文言改変)

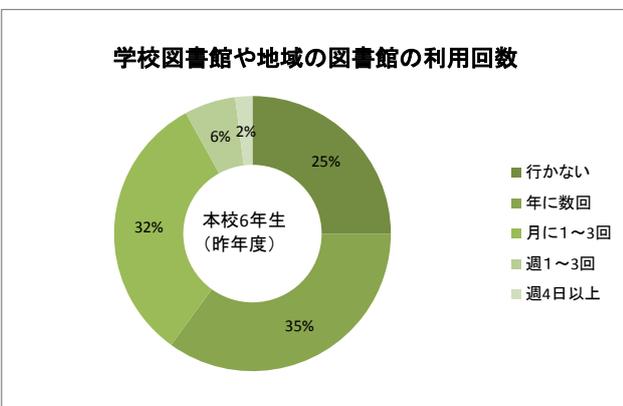
という設問に対しての本校第6学年児童の結果は下のグラフのようになりました。



問に対しては、否定的な回答率は36%に達し、読書を好まない児童が約1/3いることも明らかになりました。ちなみに東京都、全国平均の否定的な回答率は共に27%で、約1/4の割合となっています。

ここまで、読書に関連する三つの調査結果を御紹介いたしました。関小の子供たちは、スポーツ団体に所属し、塾に行き、学校からは「家庭学習をなささい。」と言われ、本当に忙しいです。しかし、これまでの各種調査の報告にて「小学生が全年代を通して一番本を読む」ことは、明らかになっているので、本校のこの実態は改善せねばならない問題です。

本校では、昨年度から“一人100冊読書”の取組を始めています。読書の質も大切だとは思いますが、まずは様々な本を読むという「量」を改善します。今年度、保護者の皆様には、「100冊チャレンジ」用のカード挟みを購入するための費用を御負担いただき、この取組をさらに推進します。「朝読書」の時間の確保の他、「きらきら文庫サークル」による読み語り、「本の探検ラリー」、「読書ピンゴ」、「関小ブックリスト」、「ブックトーク」、「おすすめ本紹介」など、様々な仕掛けを用意して、読書好きな子供を育成します。少々時間はかかるかと思いますが、成果を期待していただきたいと思います。



図書館に、「行かない」、「年に数回行く」を合わせると6割です。また、別の**読書は好きですか?**の設